

# 産業人クラブだより

―かけはし―

## トップインタビュー



中国四国産業人クラブ会長  
(広島ガス社長)  
田村 興造氏に聞く

田村 興造氏に聞く

広島ガスの田村興造社長に話を聞いた。今年には会社も産業人クラブも、東日本大震災の被災地の方のために、生真面目な性格そのままに、通常の業務(事業)に、何に、分け目の社会的な責任を、かかすことができればいい」と復興に汗する人々に

### 被災地企業の生産拠点

## 移転・新規立地手助け

種交流団体の交流には水平と垂直(深化)がある。水はネットワークの拡大と連携の可能性を広げること。垂直は具体的情報交換とアクションだと思ふ。双方に余る感謝の言葉をい

たむら・こうぞう 77年(昭52)早大理工学研究所を卒業。同年広島ガス入社。99年総合企画部LNG担当マネジャー、02年原料部長、05年執行役員、09年取締役経営企画部長。10年社長。11年5月24日から中国四国産業人クラブ会長。広島県出身。60歳。

## 産業人伝

アジアなど新興国の成長が著しい。大手がこぞって海外事業を強化する中、中小企業にとってグローバル化は生き残るための大きな課題といえる。当社は海外ポテンシャルとの提携や優秀な外国人材の積極採用など、幸いにしてグローバル化に対応できた中小企業といわれる。米

## 米留学で日本の良さ認識

本多機工・龍造寺健介社長 ①

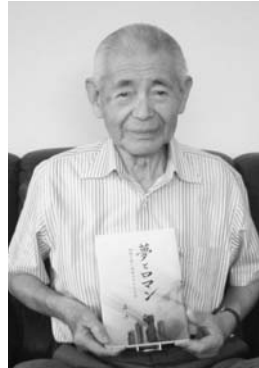
父は「学費は払うが、生活費は自分で稼げ」という方針のため、入学後は日本料理店で働いた。調理場の仕事を一通りできる技を身に付けて、卒業のころは支配人を務めていた。そのころオーストラリアのジャズを聴き、その店を開店することに。支店として運営を任された。ジョー・パスやハービー・ハンコックら著名なミュージシャンが演奏し、お店は大変繁盛した。

米国の生活は学業、仕事ともに大変だった。ただ仕事面では日本食ブームだったこともあり、一定の成果を収めることができた。その理由はやはり日本食のすばらしさだ。この点が現地の人から受け入れられた。また家電や自動車など日本のモノづくりのすばらしさも実感した。外から日本を見ることで日本の良さを再認識できたと感じている。



米国時代はレストランの運営に長年携わった(左から2人目が本人)

## トピックス



名古屋 富士精工「米寿」迎え自叙伝出版  
名古屋産業人クラブの森清副会長(富士精工名誉会長、写真)が、自叙伝「夢とロマン―超硬工具に情熱をかけた生涯」を出版した。富士精工の創業や取引先拡大、新製品開発、名古屋証券取引所上場といった経営面をはじめ、生い立ちから会社勤務時代のエピソード、人と人の出会いを大切にする人生哲学など幅広い話題を盛り込んでいる。

森さんは15歳の時、三菱重工業名古屋航空機製作所に技能工として入社し、三菱青年学校で5年間学んだ後、工具工場技術課に配属された。その頃に出会った一冊の本、「ドイツ工業会の印象」が、その後の進路を決定づけた。その中でも特に感動したのがマイスター制度。自分の手でマイスターを育て、ドイツ製品に匹敵する工具を作りたい



同社の創業は1980年。前の職場の古河電工で技術者だった高橋社長が、遠隔地から観測したデータを集めて「リモート計測」の開発を目指して独立した。設立から30年が経過し、これまで気象庁の緊急地震速報に活用される地震計測器など多くの計測機器を開発してきた。ジーセンは地元高根沢町の全6小学校への納入が決まっている。「常に新しいことに挑戦し続けてきた」と高橋社長。放射線量測定という重責を担う仕事だが、思いに揺るぎはない。

## 栃木 計測技研 放射線量 瞬時に確認

栃木県高根沢町に本拠を置く計測技研(栃木県高根沢町、高橋英雄社長、028・680・1611)。隣県の福島県で東京電力の福島第一原子力発電所の事故で放射能漏れが深刻化する中、同社の開発した計測システム(写真)が今、注目されている。その名は「G Sense(ジーセン)」。インターネットを通じて放射線量を常時モニタリングできる計測システムで、定点観測した放射線量をパソコンやスマートフォン(多機能携帯電話)などでリアルタイムに確認できる。システムは放射線量計と、電源となる太陽光発電モジュールを百葉箱などに入れ、地上から1mの高さに設置。放射線の一種である(ガンマ)線を24時間定点観測し、データは1分ごとに更新される。

## 定時総会を開催

モノづくりテーマに  
柴田山形大教授講演  
山形産業人クラブ  
山形産業人クラブ(松村英一会長)は7月8日(水)山形市のパレスグランドホテルで第29回定時総会を開いた。2010年度の事業報告と収支決算、11年度の事業計画と

総会後終了後、山形大学の柴田孝彦学長が「東日本大震災後」モノづくり産業の行方を演題に講演した。写真は、震災後に見えてきた東北地域のモノづくりの強さを紹介。震災によって見えてきた中小企業の存在感などを踏まえ、欧州型などを参考として、東北地域は考え方を転換することが豊かな社会が展望できると指摘した。講演後の懇親会では柴田教授も交えて意見交換を行った。

震災後のモノづくり  
産業人クラブに講演  
福島産業人クラブ  
福島産業人クラブ(立石吉蔵会長)は7月14日、福島市内で定時総会を開き、任期満了に伴う役員改選で立石会長を再任した。副会長には笠原賢一(笠原工業社長、服部靖弘(北芝電機社長、藤橋進一(藤橋車鉄工社長)が同じ

2010年度の事業決算報告、11年度の事業計画・予算案を審議し、原案通り承認した。総会後の記念講演会では、柴田孝彦山形大学学長が「東日本大震災後」モノづくり産業の行方をテーマに講演し、「自社の産種や製品がライフサイクルのどこに位置するかが正確に見極めることが重要で、集中的な力強い経営が成長のきざしと述べた(写真)。

中小の市場創造  
戦略テーマに講演  
長野産業人クラブ  
長野産業人クラブ(太田哲郎会長)は7月7日、長野市のホテル国際21で定時総会を開いた。太田会長は「大震災後の原発事故や景気問題などが連日ニュースで報じられているが、われわれ産業人たちが進むべき道は一つ。会員

みんなで意見を出し合うことで中身の濃い産業人クラブの事業を作り上げていく」とあいさつした。総会では2010年度の事業・収支決算報告と11年度の事業計画・収支予算案を審議し、それぞれ承認した。総会後に嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科の黒瀬直宏研究科長・教授が「中小企業の市場創造戦略」をテーマに講演した(写真)。

夏季ゴルフ  
コンペ開催  
新潟産業人クラブ  
新潟産業人クラブ(佐藤十九一会長)は7月16日、新潟県阿賀野市のイーストヒルゴルフクラブで、夏季ゴルフコンペを開催した(写真)。強い日差しの下で、12人が汗だくになって熱戦を繰り広げた。優勝者はゴルフ部会長のセキサマの関正広社長(ネット73・6)。2位は佐佐木金治所長(ネット75)が獲得した。

横田氏が優勝  
首都圏産業人クラブ  
チャリティゴルフ大会  
上博史氏(野火止製作所顧問)が、3位に宇野沢雄氏(宇野沢組鉄工所社長)が入った。ベストクロス賞はクロス80で植田耕作氏(日本メタルガセット会長)。



THK新潟株式会社  
研削機械が整然と  
THK新潟を見学  
新潟産業人クラブ  
員企業でもあるTHK新潟(新潟県阿賀野市)の「工場見学会」が写真を実施した。同社の小林政雄社長は20人の参加者に、THKグループにおける位置付けや生産するボールスライスの幅広い産業用途などを説明。6月が朝6時の操業で節電対応している。2013年3月期の売上高は11年3月期比4割増の70億円を目指す。同時に利益率を高める。と生産効率アップへの努力や国内外需要の増加見込みを語った。その後、3班に分かれて工場から第三工場まで、ボールスライスのナットシャフトのボ

長野計器など訪問  
一泊研修に11人参加  
埼玉産業人クラブ  
TDU産学交流会  
埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会・佐藤雄会長(アールソフト)は7月8・9の両日、長野方面へ一泊研修を実施した。11人が参加した。8日午前は世界有数の圧力センサー専門メーカーである長野計器の丸子工場を訪問。ショールームやFラインが所狭しと並び工場を見学した(写真)。質疑応答で同社の佐藤雄取締役執行役員丸子電子機器工場

日本経済の行方  
テーマに分科会  
埼玉産業人クラブ  
埼玉産業人クラブ(増田文治会長)は7月13日、さいたま市浦和区の日刊工業新聞社さいたま総局で分科会を初めて開催した。講師に招き、日本経済の行方などをテーマに講演。会員ら約20人が参加し、参加者同士の語り合った。

松岡部長は日本経済の行方を左右するキーワードに「少子高齢化で労働人口が減少する中、働く女性を増やしていく必要がある。女性が活躍し、収入を得れば商品の購入などで内需拡大にもつながる」と熱く語り、女性の働きやすい環境づくりの重要性や関連する県の施策を紹介した。講演終了後は懇親会を開き、参加者同士の語り合った。

分科会では会員同士の情報交換や親睦を目的に、第2水曜日に「日刊工業新聞社さいたま総局内」の会議室でミニ講演会を中心に開催していく。

埼玉産業人クラブ(増田文治会長)は7月13日、さいたま市浦和区の日刊工業新聞社さいたま総局で分科会を初めて開催した。講師に招き、日本経済の行方などをテーマに講演。会員ら約20人が参加し、参加者同士の語り合った。

分科会では会員同士の情報交換や親睦を目的に、第2水曜日に「日刊工業新聞社さいたま総局内」の会議室でミニ講演会を中心に開催していく。

分科会では会員同士の情報交換や親睦を目的に、第2水曜日に「日刊工業新聞社さいたま総局内」の会議室でミニ講演会を中心に開催していく。

新入会員

栃木産業人クラブ  
荒川 勝美氏 特殊機工社長 (栃木県)  
佐野 茂氏 (栃木県)  
2010年7月10日

千葉県産業人クラブ  
関口 勝裕氏 ミツタス社長 (千葉)  
矢野 三三氏 (千葉)  
2010年7月10日

東京都産業人クラブ  
石 太郎氏 (東京)  
文京区湯島3の14  
2010年7月10日

健康維持製造販売(一般機械器具製造)

82・27・5225